

会議名称	平成25年度第1回平塚市スポーツ推進審議会
日時	平成25年(2013年)6月24日(月) 14時から15時34分まで
会場	平塚球場 会議室
委員数	15名
出席者 委員	13名 陶山正明、萩裕美子、田中國義、高梨孝治、伊藤公明、石塚重子、菌田稔、江藤博一、大曾根俊久、久野英範、柳田達男、吉川正行、小林裕子
出席者 事務局	5名 後藤社会教育部長、高橋スポーツ課長、市川主管、渡部主任、大沢田主任

- 1 陶山会長あいさつ
- 2 後藤社会教育部長あいさつ

【事務局】

平塚市スポーツ推進審議会規則第4条に規定する定足数は委員定数15名に対し、本日の出席者13名で過半数を超えているため、会議が成立することを事務局から報告する。

4 議題

- (1) 「第62回市民総合体育大会の視察」について

【事務局】

資料に基づき第62回市民総合体育大会の視察について説明

【議長】

視察のコースがいくつか提案されている。去年射撃の視察を行わなかったが、今年どうするか、皆さんに確認したい。

<委員に確認した結果、大井射撃場、大神スポーツ広場、総合公園内各会場を視察するコースに決定した>

(2) 平成 26 年度指定管理者の更新及び新規導入について

【事務局】

資料に基づき平成 26 年度指定管理者の更新及び新規導入について説明

【委員】

現在指定管理者を導入している軟式庭球場、桃浜町庭球場は同一の指定管理者なのか。

【事務局】

どちらも平塚市庭球場運営管理共同事業体が指定管理者となっている。

【委員】

軟式庭球場、桃浜町庭球場と併せて大神スポーツ広場を指定管理者が管理することになるのか。

【事務局】

そうである。

【委員】

今回、指定管理者の切り替えを初めて行うことになると思うが、指定管理者を導入指定からこれまでの 5 年間、行政としてはどのような感触を持っているか。

【事務局】

指定管理者を導入したことで利用時間の拡大などが行われた。民間からのアイデアを取り入れるという点では、効果があったかと思う。

【議長】

利用料金の値下げ以降、パークゴルフ場の利用者数は伸びているか。

【事務局】

利用者数は延べ人数にして 2.6 倍増えた。

(3) 平塚市体育施設及び夜間照明施設の設置管理等に関する条例の一部改正について

【事務局】

資料に基づき平塚市体育施設及び夜間照明施設の設置管理等に関する条例の一部改正について説明。

【議長】

有料化するとのことだが、利用料金は、指定管理者の選定に関係なく、行政で決めるのか。

【事務局】

そうである。

【議長】

有料化することで体育協会に影響はないのか。

【委員】

施設の運営に掛かるコストを考えると、利用料金を支払うことは必要であると考えている。

【委員】

市民総合体育大会を開催する際にも利用料金を取られるのか。

【事務局】

市の事業なので取られない。

【委員】

何年かに1回台風の影響などで川が増水し、大神スポーツ広場が被害を受け、利用できなくなることがある。利用できなくなった場合は、市で補修するのか。

【事務局】

補正予算を組み、補修を行う。

(4) 平塚市スポーツ推進計画について

【事務局】

資料に基づき、平塚市スポーツ推進計画について説明。

【委員】

概要版について、計画の目的といった重要な点は、1ページ目に掲載すべきだと思う。

【事務局】

計画の特色がどういったものかをまずアピールしたいと考え、このような構成にした。

【委員】

順番は改めて検討いただきたい。

【議長】

副会長はどのように思われるか。

【副会長】

パブコメで出す資料がどれなのか非常に気になる。

【事務局】

パブコメの際には、素案と概要版を市民の皆さんにお見せする予定である。

【副会長】

このままだと、市民にとって分かりづらいかと思う。市民から意見を多くいただけるよう、分かりやすくする必要があると思う。活字だらけよりは、多少スペースを設けたり、絵を入れると良いと思う。併せてレイアウトについても工夫いただければと思う。

【委員】

市民が一目見て入ってくるのは、目指す姿と計画の目的だと思う。やはり、目指す姿は最初に大きく出すべきだと思う。

【委員】

パブコメとして出す際には、まず訴えるべきものを最初に出し、それからその背景となるものについて、記載するべきだと思う。また、副会長がおっしゃるとおり絵があると良いと思う。

【議長】

スポーツ関係者からの意見聴取は行うのか。

【事務局】

スポーツ関係者に対しても意見聴取を行っていく。

【副会長】

パブリックコメントの時点から、市民への意識啓発は始まっている。だからこそ、分かりやすい資料を市民に提供する必要がある。

【委員】

パブリックコメントを実施するにあたって、広報ひらつかで市民への周知は行われるのか。

【事務局】

行う予定である。

【委員】

事業の実施年度が入っていないが、入れないのか。

【事務局】

多くのものが現在行っている事業となっている。これらの事業については、継続して実施することとなる。新しいものについては、特にいつまでという期間を設けてはいないが、計画期間の10年間で取り組みたいと考えている。

【議長】

いつからという部分では、5年から10年という計画期間内で取り組む予定であると理解いただきたい。

【事務局】

全てが予算を必要とする事業では無いので、できるものから積極的に取り組んでいきたい。また、その進捗状況について審議会の皆さんから評価をいただきたいと考えている。

【委員】

5年の時点で新規で行う事業については、実現の有無にかかわらず、手を付けておかなければ、10年経った時点で実現できていない事業が出てきてしまう。折り返しの5年目の時点で新規で行う事業については、手を付けておく必要がある。

【議長】

ベルマーレとして、御意見があれば伺いたい。

【委員】

計画に書いてあることについては、実施していくことが求められると考えているので、努力していきたい。

【議長】

学校として、御意見があれば伺いたい。

【委員】

学生をボランティアとして活用することができると思うので、協力していきたい。

【議長】

その他に御意見があれば伺いたい。

【委員】

少年少女スポーツ大会など子供の大会にも協力していきたい。

【委員】

普及や連携拡大など目に見えない部分について、何を基準に普及・連携拡大が達成されたとするのかを考えておく必要があると思う。

【議長】

副会長から御意見があれば伺いたい。

【副会長】

先程委員の方からも御意見があつたが、目に見えないものをどうやって評価するのかを考えておくことは重要だと思う。

【委員】

スポーツに取り組んでいない人に、どのように理解していただくかも大事である。

【議長】

本日はここまでで審議を終了したい。

(2) その他

特になし

5 閉会